

子供たちの安全は 私たちが守らないと!

柿田 幸男さん
栄東連合町内会会長

連合町内会会長として地区内を
今日も東へ西へ。人望が厚く、地
区の心をついにまとめています。



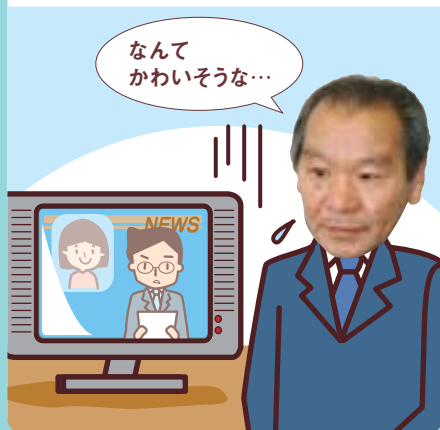
あなたの声が街を変える

第1回

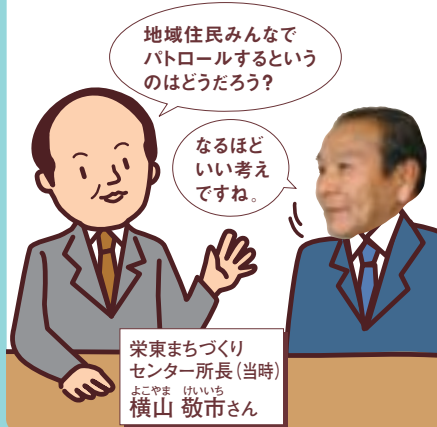
「市民参加のまちづくり」。
大切なのは分かるけど何から始めたらいいのかわからない。
そんな皆さんのために、
実際にあったまちづくりの事例を紹介するこのコーナー。
今回は東区栄東地区の「市民パトロール隊」を紹介します。

お問い合わせは 栄東まちづくりセンター ☎ 711-2203

1 柿田さんは、最近ニュースでよく見る子供たちを狙った悲しい事件に胸を痛め、もっと子供たちの安全を守らなくては、と考えていました。



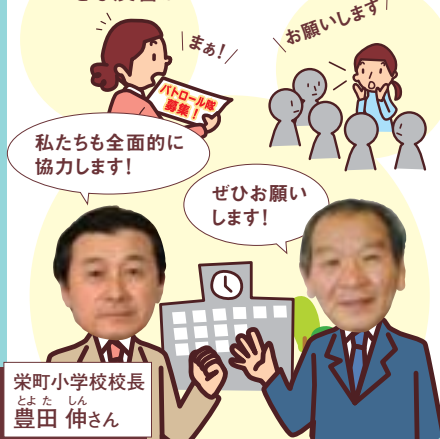
2 すでに設立されていた「※栄東地区子ども未来会議」でも、子供たちの安全確保は課題に。まちづくりセンター所長との雑談でこの話になり、



3 これを連合町内会の役員会で提案してみると、みんな大賛成!地区内の関係する団体などからも協力を得られることになりました。



4 各町内会長の呼び掛けや回覧、関係団体を通じて、広く※市民パトロール隊参加者を募集したところ、大きな反響が!



5 現在は地区内の583人もの人たちが市民パトロール隊に登録。外出の際には腕章を着けて、子供たちの、そして街の安全を守っています。



最後に柿田さんから

不安な事件が多い中、街の安全を守りたい気持ちはみんな一緒だったんです。隣近所で声を掛け合い、顔の見える付き合いをする。そういう普通のことが防犯対策には一番だと思います。協力してくださっている皆さんには心から感謝しています。



もっと知りたい

①栄東地区子ども未来会議って?

地区内で子供にかかわる活動を行っている団体が、相互理解を深めることを目的に昨年10月に設立されたもの。町内会、小中学校、少年補導員会、交通安全協会など41団体が参加し、情報交換や共通の課題についての協議が活発に行われています。

②市民パトロール隊って?

栄東地区で今年3月18日に発足。登録者は散歩や買い物など、普段の外出時に腕章を着けて歩きます。不審者や不審車両を発見した際はすぐ警察に通報するという以外、特別な義務はありません。パトロールの頻度も時間帯も自由なので、気軽に参加することができます。

今月のサポーター

栄東地区の学校ではこれまでも、防犯地図の作成や校内への侵入者の対応訓練など、対策を講じてきました。しかし、今回発足した市民パトロール隊は、街中に子供たちを見守ってくれる目があるという、地域ぐるみでの対策。これほど心強いものはありません。

子供たちには、地域の皆さんが守ってくれていることを話し、感謝の心を持つよう教えることで、良い教育にもなっています。



とよた しん
豊田 伸さん 栄町小学校校長
地域に開かれた学校を目指し、今回の活動にも積極的に参加

テーマ募集 ● まちづくり事例募集中

身近にあった市民によるまちづくりのお話をお寄せください。
住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を記入し、はがき、ファクス、Eメールで市役所広報課(1ページ)へ。